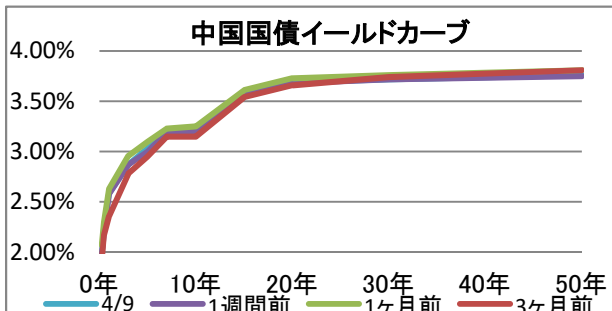
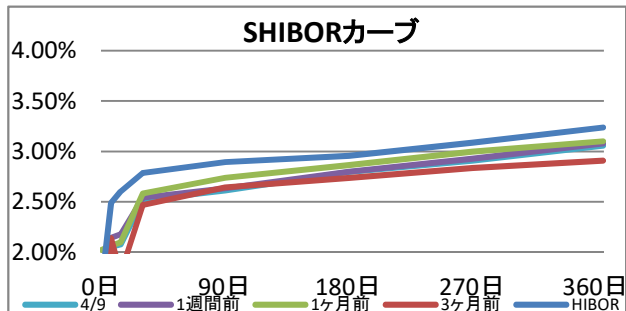


①市場概況

基準レート		2021/4/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.5409	-0.0240
	JPY/CNY	5.9838	0.0486
SHIBOR	3M	2.6120%	-0.0220%
国債利回り	10年	3.21%	+0.01%
上海総合指数		3,450.68	-33.71



(1) 概況

イースター休暇明けの世界金融市場は、米国のバイデン大統領のインフラ政策やイエレン財務長官の法人増税案、経済の先行き不確実性を懸念するFOMC議事録やパウエル議長のハト派発言に加え、2011年以来となる高いインフレ指標等の材料の多い展開となったものの、経済回復期待に基づく強気の展開となった。中国金融市場も清明節明けながら、財新非製造業PMIが予想以上の伸びとなり、インフレ指標も原油価格上昇を背景に高い伸びとなったものの、市場は落ち着きを持って受け止めており、株式市場、債券市場とも変動幅は限定的となっている。ただし、米中の債券利回り格差縮小を背景に国外投資家による中国金融市場への投資資金流入鈍化に対する警戒感もある模様。

米商務省は、中国スーパーコンピューター7社を軍事活動への関与を理由として経済ブラックリストに追加し、米国製品利用への認可取得を義務付けている。

中国では、国務院金融安定発展委員会が開催され、過度の金融緩和政策への警戒と改革開放や国際協力が確認され、地方金融機関の監督強化が検討されている。中国人民銀行は債券市場への国外投資家のアクセスを更に容易にする措置を公表し、中国本土での人民元先物市場創設による為替変動リスク管理促進を検討している。また、財務部と税務総局は製造業における研究開発費の全額費用化実施を決めている。

中国市場監督管理総局は、アリババに対して独占禁止法違反による182億元の罰金を科している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は毎日リバースオペでの100億元を供給する調整を維持し、今週は差し引き100億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

- ・財新非製造業PMI (3月) は、54.3 (2月51.5) と11か月連続で50以上を維持し、4か月ぶりに前月を上回り、雇用も拡大に転じている。これにより、総合PMIも53.1 (2月51.7) となった。
- ・PPI (3月) は、前年比+4.4% (2月+1.7%) と、原油価格上昇を背景とする生産材料価格の上昇により2008年以來の高い伸びとなった。
- ・CPI (3月) は、前年比+0.4% (2月-0.2%) と3か月ぶりに上昇に転じている。豚肉価格の下落を主因に食品価格が下落したものの、燃料価格の上昇による非食品価格の上昇によるもの。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7840%	1.7800%	1.8000%	
1W	2.0540%	2.3500%	1.9000%	1.6500%
2W	2.0800%	2.2500%	4.5000%	1.8500%
1M	2.5160%	2.9000%	3.0000%	2.2000%
3M	2.6120%	3.5000%	2.8000%	2.6300%
6M	2.7950%	2.9700%	2.7000%	
9M	2.9110%		3.1000%	2.9400%
12M	3.0590%	3.4300%		3.0400%

資金需給は月初の余剰状態が徐々に引き締められつつあり、今後の納税と債券発行による資金需給悪化への当局の対応に注目が集まる展開となっている。ターム物の出合いは1ヶ月の2.40%前後の出合いを除き限定的となっている。

NCDは、引き続き活発に取引されて緩やかに低下しているものの、先行き不透明感が強く大きな変化は見られない。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.25%、3ヶ月物が2.60%、6ヶ月が2.75%、1年が3.03%を中心に取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.12%	0.14%
3M	0.28%	0.30%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.55%	0.60%

資金需給状況に変化はなく、ターム物の金利水準は1ヶ月が0.1%台前半、3ヶ月が0.28%前後で出合っている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.96%	1.98%	2.64%	2.74%	3.35%
6M	2.24%	2.25%	2.77%	2.87%	3.46%
1Y	2.59%	2.62%	2.99%	3.02%	3.63%
3Y	2.87%	3.04%	3.41%	3.54%	4.28%
5Y	3.03%	3.30%	3.56%	3.79%	4.54%
10Y	3.21%	3.49%	3.87%	4.05%	4.84%

債券市場では、景気回復とインフレを示す経済指標が続き、今後の債券発行増加による需給悪化も懸念されるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大による世界経済回復の先行き懸念もあって狭い値幅での取引が続いている。イールドカーブも大きな変化はなく、クレジットスプレッドにも有意な変化は見られなかった。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.6 / 28.7
1M	143.0 / 144.0
3M	436.0 / 438.0
6M	867.0 / 870.0
9M	1289.0 / 1291.0
12M	1693.0 / 1695.0

対ドル基準レートは、6.5409と前週末比-240pipsのドル安元高、対円基準レートは5.9838と同+486pipsの円高元安と、米国債利回り低下によるドル安を映じて8週ぶりに前週末比で人民元高に転じている。国内市場でも金利差の縮小による国外からの資金流入の鈍化により依然として6.6を目指す展開との見方が強く、元高は短期的な調整によるものとの見方が多い。

先物は、ドル、人民元ともに金利水準に大きな変化はないものの、スワップ幅は人民元金利の低下により1年物が1700台を下回る状況となっている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.37%		2.10%
6M	2.47%	2.77%	2.17%
9M	2.53%	2.86%	2.22%
1Y	2.57%	2.94%	2.27%
3Y	2.80%	3.30%	2.45%
5Y	2.97%	3.52%	
7Y	3.11%	3.68%	
10Y	3.26%	3.85%	

債券利回り水準に大きな変化がなかった一方、短期資金市場では金利が低下したことから、スワップ金利も短期が小幅に低下し、小幅にスティーピングしている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも短期で小幅に縮小した以外に概ね変化はなかった。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入